

令和元年度の主な取組内容について

「瀬田川および大津・信楽圏域の取組方針(案)」に基づく令和元年度の取組内容

■:協議会全体の取組

○:実施 ー:未実施 検討中:検討中

取組番号	取組内容	目標時期	大津市	甲賀市	彦根地方気象台	滋賀県	近畿地整
1)円滑かつ迅速な避難のための取組							
①情報伝達、避難計画等に関する事項							
1	出水期前に協議会においてホットラインの連絡体制を確認	引き続き実施	○	○	○	○	○
2	土砂災害に関するホットラインを構築	H30年6月	○	○		○	
3	毎年、出水期前に協議会において、市等関係機関と水害対応タイムラインを確認	H30年度から順次実施	○	○	○	○	○
4	土砂災害警戒情報発表の判断基準（CL）の見直しを継続的に行う	引き続き実施			○	○	
5	土砂災害警戒区域や浸水想定区域の見直しに合わせて、「タイムライン（防災行動計画）策定・活用指針」に基づくタイムラインを作成	R3年度	ー	ー	ー	ー	ー
6	避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善（活用訓練等の実施）	引き続き実施	ー	○			
7	地先の安全度マップによる浸水想定および河川水位の情報を提供することで、水害の危険性を周知	引き続き実施				○	
8	平成29年度に基礎調査を完了した、H15公表の土砂災害危険箇所に対する土砂災害警戒区域等の指定を完了	H30年度				○	
9	新たに判明した土砂災害リスク箇所について、基礎調査を完了し公表	R1年度				○	
10	土砂災害警戒区域の更新・公表	順次実施				○	
11	毎年協議会の場において、水害および土砂災害の危険性周知について情報共有	H30年度から順次実施	○	○	○	○	○
12	防災情報を、わかりやすく伝えるポータルサイト（S I S P A D）の運営・更新	引き続き実施				○	
13	避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等	引き続き実施	○	○			
14	住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信	引き続き実施			○		○
15	避難情報を各世帯へ確実に届けるため、音声放送端末機を設置	引き続き実施		○			
16	土砂災害警戒情報について、プッシュ型しらがメールの利用を促進	引き続き実施			○	○	
17	要配慮者利用施設の避難計画作成や避難訓練等の実施状況の確認	引き続き実施	○	○	○	○	○
18	避難誘導マニュアルの作成	H30年度から順次実施	ー	○		○	

「瀬田川および大津・信楽圏域の取組方針(案)」に基づく令和元年度の取組内容

■:協議会全体の取組

○:実施 ー:未実施 検討中:検討中

取組番号	取組内容	目標時期	大津市	甲賀市	彦根地方気象台	滋賀県	近畿地整
②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項							
19	琵琶湖、瀬田川上流の想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図の公表	H30年度				○	○
20	大戸川の想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図の公表	H30年度				○	
21	想定最大規模の外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表(琵琶湖、瀬田川上流、大戸川)	H30年度から順次実施				○	○
22	水のめぐみ館「アクア琵琶」、ウォーターステーション琵琶を拠点とした防災意識向上に資する住民連携イベント等の啓発活動の実施	引き続き実施					○
23	大学ボート部等の瀬田川水面利用者との連携や湖岸の観光集客施設を活用した防災意識向上の啓発活動の実施	H30年度から順次実施	検討中		検討中	検討中	ー
24	地先の安全度マップの更新・公表	R1年度				○	
25	想定最大規模の洪水浸水想定区域図、地先の安全度マップの更新、土砂災害警戒区域等の指定等に合わせて水害・土砂災害ハザードマップを更新および周知	順次実施	マップは更新済 全戸配布はR3予定	浸水想定区域変更 に伴いマップ更新 予定(R3予定)			
26	地先の安全度マップによる浸水リスクの公表ならびに、流域治水条例による想定浸水深の設定	引き続き実施				○	
27	水害履歴調査結果の公表	引き続き実施				○	
28	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	引き続き実施	○	○	○	○	○
29	作成された防災教育に関する指導計画を協議会の関連市における全ての学校に共有	H30年度から順次実施	ー	○		○	○
30	県内の小中学校を対象とした土砂災害防止に関する絵画作文コンクールの実施	引き続き実施				○	
31	市町村等の取組を支援する専門家のリストを作成及び支援結果について協議会等の場で共有	R1年度から順次実施				○	○
③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組							
32	危機管理型水位計配置計画に基づいて順次整備	近畿地整：H30年度 県：R2年度				ー	○
33	河川監視用カメラの情報共有（配置計画の検討・見直し）	引き続き実施		○		○	○
34	水害リスクラインに基づく水位予測及び洪水予報を実施及び洪水の最高水位やその到達時間の情報提供など、洪水予報の高度化を推進	R1年度から順次実施					○
35	中小河川における簡易な方法(簡易水位計・量水標等)も活用した河川水位等の情報提供	引き続き実施				○	

「瀬田川および大津・信楽圏域の取組方針(案)」に基づく令和元年度の取組内容

■:協議会全体の取組

○:実施 ー:未実施 検討中:検討中

取組番号	取組内容	目標時期	大津市	甲賀市	彦根地方気象台	滋賀県	近畿地整
------	------	------	-----	-----	---------	-----	------

2)的確な水防、土砂災害防止活動のための取組

①水防体制の強化に関する事項

36	重要水防箇所等について、5ヶ年点検計画を作成し、河川管理者と関係市による共同点検	H30年度から 順次実施	ー	ー		○	
37	水防資機材について、河川管理者、水防活動に関わる関係者が共同して点検を実施	H30年度から 順次実施	○	○		○	○
38	協議会の場において、水防(消防)団員、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報について検討の上実施	H30年度から 順次実施	検討中	検討中		検討中	
39	自主防災組織の活用・強化 (組織の育成や立上げサポート等)	引き続き実施	○	○			
40	水防技術に関する勉強会の実施	引き続き実施	○	検討中			
41	毎年、水防研修・水防訓練を実施	引き続き実施	○	○		○	
42	毎年、土砂災害を対象とした各市主催の訓練および県・市間の情報伝達訓練を実施	引き続き実施	○	○		○	
43	協議会の場を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効果的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容について検討	H30年度から 順次実施	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中

②市庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項

44	浸水想定区域内の市庁舎や災害拠点病院等に関する情報提供	H30年度から 順次実施				○	○
45	浸水想定区域内の施設管理者への情報伝達体制・方法検討	H30年度から 順次実施	検討中	検討中			
46	市庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報と対策の実施状況の共有	H30年度から 順次実施	検討中	検討中			

3)氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組

47	河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有	引き続き実施				○	○
48	緊急時に迅速かつ確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成	H30年度から 順次実施				検討中	○
49	浸水被害軽減地区を指定する際に参考となる土地に係る情報提供	H30年度から 順次実施				○	県で実施○
50	水防管理者による浸水被害軽減地区の指定及び複数市に影響がある地区の課題共有と、連携した指定	R1年度から 順次実施	ー	ー			

「瀬田川および大津・信楽圏域の取組方針(案)」に基づく令和元年度の取組内容

■:協議会全体の取組

○:実施 ー:未実施 検討中:検討中

取組番号	取組内容	目標時期	大津市	甲賀市	彦根地方気象台	滋賀県	近畿地整
4)河川管理施設、土砂災害防止施設の整備等に関する事項							
51	瀬田川洗堰下流の改修を実施 ○河道掘削	引き続き実施					○
52	「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)」に基づく県管理河川の改修を実施 ○護岸、河道掘削 ○築堤、護岸、河道掘削 ○河川計画検討	引き続き実施				○	
53	「大津土木事務所管内維持管理計画」、「甲賀土木事務所管内維持管理計画」に基づく維持管理を実施	引き続き実施				○	
54	・土砂災害防止施設の整備 ○砂防事業 ○急傾斜事業 ○市急傾斜事業	引き続き実施	○	未実施		○	
55	「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)」に基づく堤防強化対策を実施 (草津川)上田上桐生町	引き続き実施				○	
56	河川管理者が設置している樋門について、無動力化や新たな操作委託先について検討	引き続き実施					検討中

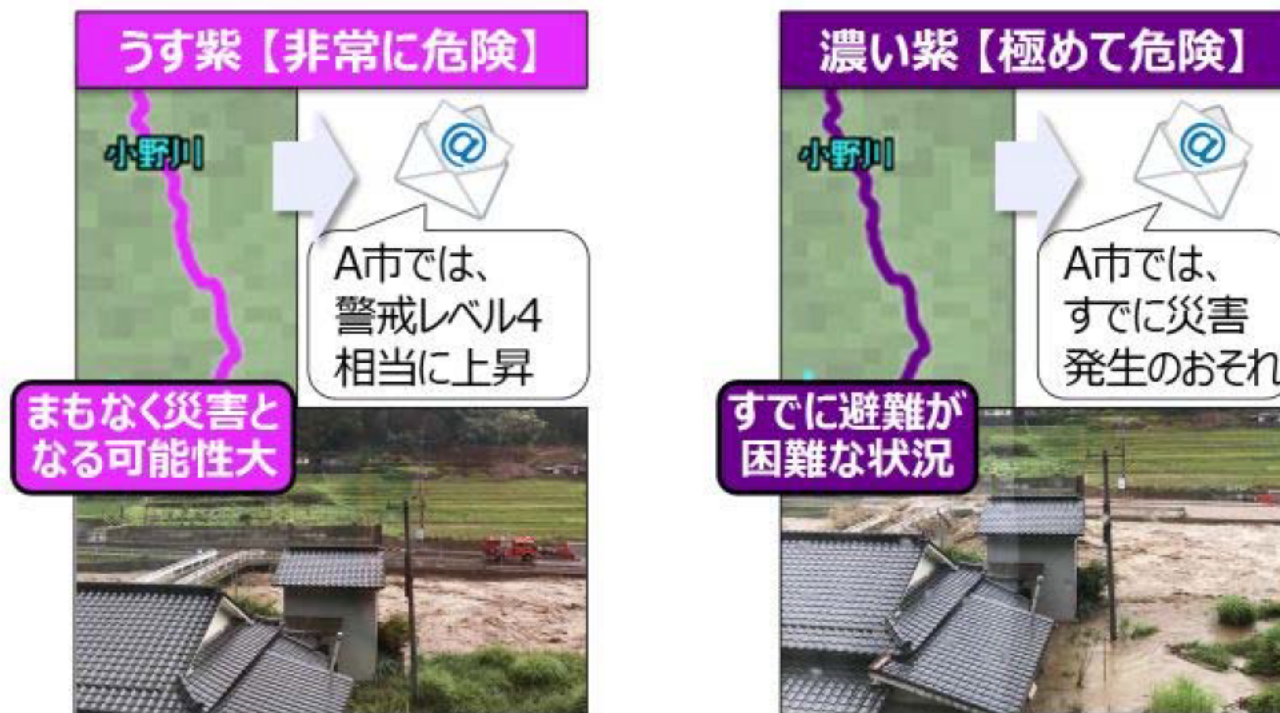
5)減災・防災に関する取組および支援

57	瀬田川地域安全協議会の運営により市の取組を支援	引き続き実施				○	
58	水害に強い安全安心なまちづくり推進事業等により安全な住まい方を支援	引き続き実施				○	
59	特に水害リスクの高い地区では、水害に強い地域づくり(とどめる対策)の取組を実施	引き続き実施	検討中	検討中		○	
60	土地利用規制の取組を実施(1/10、50cm市街化編入しないなど)	引き続き実施				○	
61	特にリスクの高い地区では、水害・土砂災害に強い地域づくり(そなえる対策)の取組を実施	引き続き実施	検討中	検討中		○	
62	地域におけるタイムライン等の作成を支援	引き続き実施	検討中	検討中		○	
63	各戸での雨水貯留対策に対し支援	引き続き実施	○				

住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の 情報発信のための整備

彦根地方気象台

■住民の主体的な避難の判断を支援することを目的に、「危険度分布」等が示す5段階の危険度の変化を、警戒レベルを付して分かりやすくプッシュ型で通知することとしました。



画像：日田市職員提供（平成29年7月5日）

プッシュ型の通知サービスを実施する事業者を令和元年5月に募集し、その結果、5つの事業者に協力いただけることとなりました。

通知サービスでは、ユーザーが登録した地域の危険度が上昇したとき等に、メールやスマホアプリでプッシュでお知らせします。

水のめぐみ館「アクア琵琶」、ウォーターステーション琵琶を
拠点とした防災意識向上に資する住民連携イベント等の啓発活動

琵琶湖河川事務所

- 毎年、夏・冬にアクア琵琶とウォーターステーション琵琶で「水辺の匠」イベントを実施し、防災に関する啓発活動を実施。

第8回 水辺の匠

クリスマスイベント

2019年12月1日(日) 9:00~15:30 **入場無料**

※材料費は有料です
※材料がなくなり次第終了します

場所※ウォーターステーション琵琶・アクア琵琶
(滋賀県大津市黒津4-2-2)

Water Station BIWA
ウォーターステーション琵琶会場

Aqua BIWA
アクア琵琶会場

※クリスマスリース作り
※ペットボトルで雷ダマ作り
※ヨシでフィンランドのオーナメント作り
※ダンボールでクリスマスツリー作り
※ヨシ類にクリスマスアート作り
※魔法のランプ作り
※スポーツカーに乗ったサンタ:木製材工作
※ミニクリスマスリース作り:紙ひも木製材工作
※キラキラスライム/パレット作り
※森と水のめぐみ工作
※ヨシで、よし笛(スライドホーンなど)工作
※川の生きものクラフト作り
※ペンダント・ネックレス・つくいす飾り作り

クリスマスを楽しむ
※13:30~15:00
※よし笛によるクリスマス演奏会
※フワネット演奏でクリスマス
※サンタさんのお話とギター演奏

15:00~17:00
クリスマスプレゼント
あそび
※子ども先着200名

Arazaki Retro Cafe
洗壇レトロカフェ
(カンパ) 13:00~17:00
※日没まで
※雨天中止

11:00~13:30の間
南郷水産センター駐車場で
パンやサンドウィッチの
販売があるよ!

アクセス方法
JR石山駅より京阪バス大石行き・南郷洗灌バス停下車徒歩5分
※バス停は「南郷洗灌」です。バス停の看板には「南郷洗灌」の文字がのっています。

ウォーターステーション琵琶 (滋賀県大津市黒津4-2-2)
受付時間:9:00~17:00 (毎週火曜休場)
TEL:077-536-3520

主催:ウォーターステーション琵琶の会・琵琶湖河川事務所(アクア琵琶)
後援:滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会・びわ湖放送

おもしろ発見!

水辺の匠

楽しい体験が盛りだくさん!
夏休みの始まりは水辺の匠で盛り上がりよう!

水エクラフト体験
木エクラフト体験
アユの塩焼き体験
モーター体験

第12回
Mitsuo no Takami 2019

人場無料
※一部材料費有料

家族やお友達と遊びに来てね!

【場所】
ウォーターステーション琵琶・アクア琵琶

【アクセス方法】
JR石山駅より京阪バス大石小学校行・南郷洗灌バス停下車徒歩5分

◆公共交通をご利用ください。
◆お車は、隣の南郷水産センター駐車場(有料)をご利用ください。
◆雨天により中止の場合は、WS琵琶HPにてお知らせします。

【お問い合わせ先】
ウォーターステーション琵琶
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2
TEL.077-536-3520
受付時間9:00~17:00(毎週火曜休場)

2019年 **7/20±21日**
時間/9:30~16:00
(20日のオープニング
セッションは9:15~)

主催:ウォーターステーション琵琶の会・琵琶湖河川事務所(アクア琵琶)
後援:滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会・びわ湖放送
協力:滋賀県立琵琶湖博物館・南郷水産センター・水辺に学ぶネットワーク

この事業は、「(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構「琵琶湖・淀川こども水質保全活動助成」を受けて実施しています。

今年も「水辺の匠」で盛り上がりました。

～国と住民団体との共同開催イベント～

琵琶湖河川事務所

R1.7.20～7.21



1/2

- 地域のみなさんに琵琶湖河川事務所の事業を紹介し、水辺に親しみを持っていただけたら幸いです。今年も住民団体と共に夏のイベント『水辺の匠』を開催しました。今回は梅雨がなかなか明けず、すぐれない天気の中、両日で約1,870人もの皆さんにお越し頂きました。
- 洗濯や水質調査の見学 参加型のクイズ、パトロール車・照明車の展示、おはなし会などを通じて、「琵琶湖」『瀬田川』『今年通水40周年を迎える野洲川』の治水や歴史、防災をより身近に感じてもらえました。
- ▼日時：令和元年7月20日(土)・21日(日) 9：30～16：00
- ▼場所：アクトア琵琶・ウオーターステーションビジョン琵琶の会・琵琶湖河川事務所（アクトア琵琶）
- ▼主催：ウオーターステーションビジョン琵琶の会・琵琶湖河川事務所（アクトア琵琶）

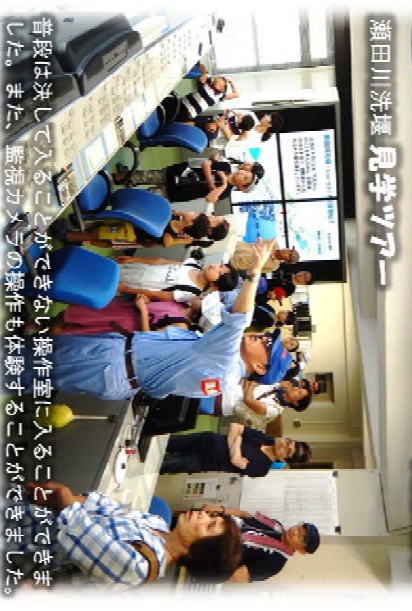
第12回 水辺の匠



参加者に配布



タッチパネル画面を用いて、浸水想定区域について学習しました。



普段は決まることができない操作室に入ることができました。また、監視カメラの操作も体験することができました。

普段乗れない水質調査船（湖水守）の見学



始から瀬田川の水を取って、水質やプランクトンを調べてみました。



子供達にも体験してもらいました。



パネルを使って丁寧に分かりやすく説明しました。



旧洗堰の歴史や仕組みについて説明しました。



みんな真剣な表情で水質調査に取り組みました。



照明車の操縦も体験できました。



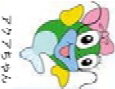
パトロール車・照明車の実演 記念撮影

第8回 「水辺の匠」クリスマスイベント

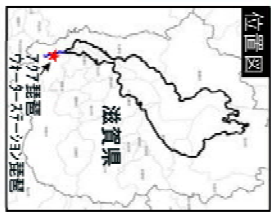
R1.12.1

琵琶湖河川事務所

●琵琶湖河川事務所では、毎年地域の住民団体と共に水辺に親しむイベント『水辺の匠』を開催しており、冬の開催は今年で8回目を迎えました。天候にも恵まれ約900人もの皆さんにお越し頂きました。●洗濯の見学 参加型のクイズ、パトロール車・照明車の展示、おはなし会などを通じて、『琵琶湖』『瀬田川』『野洲川』の治水や歴史、防災をより身近に感じてもらいました。



▼日時：令和元年12月1日(日) 9:00~15:30
▼場所：アケア琵琶・ウオーターエーション琵琶
▼主催：ウオーターエーション琵琶の会・琵琶湖河川事務所(アケア琵琶)



オープニング

事務所長の挨拶

記念撮影

吉岡代表の挨拶



おはなし会「明治29年大洪水の真実」

講演：副所長

琵琶湖最高水位を記録した明治29年の大洪水について、映像を使って普段聞かざらない貴重なお話をしました。



瀬田川洗濯見学ツアー

決して入ることができない洗濯や操作室に入り、洗濯の役割や歴史、普段の管理状況について説明しました。



とーた君の大人カテたいじ

依據本伝説に基づいたベアフット人形劇。舞台や背景もすべて手作り。瀬田川の唐橋を舞台とする伝説を、分かりやすく伝えました。



河川パトロール車の展示

河川パトロール車の前で、記念撮影ができました。(子供用TEC服やかわいい顔パネルは無料で貸出しました。)

オリジナル枠でプリントサービス

河川パトロール車の前で記念撮影した写真を、イベントオリジナルの枠に付けてプレゼントしました。

■更新内容

1. 条例に基づく更新内容

滋賀県流域治水の推進に関する条例 平成26年3月31日公布

第7条 知事は、想定浸水深の設定または変更のために必要な基礎調査として、河川等に係る集水地域および氾濫原に関する地形、土地利用の状況その他の事項に関する調査を行うものとする。

第8条 知事は、前条第1項の調査結果を踏まえ、おおむね5年ごとに想定浸水深を設定するものとする。

<更新内容>

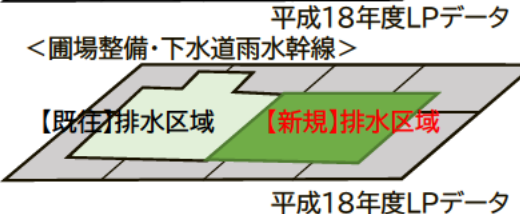
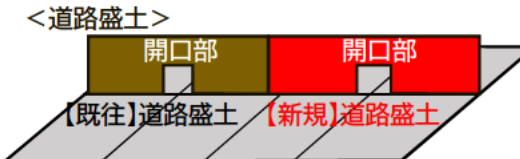
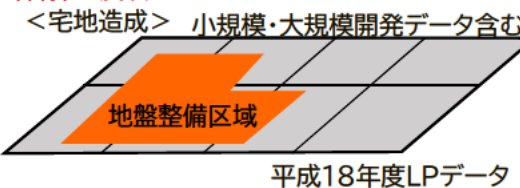
河川改修、宅地造成、道路盛土、圃場整備および下水道雨水幹線を最新情報に更新
 【令和2年3月に「地先の安全度マップ」を更新・公表済】

2. 河川整備反映箇所一覧表

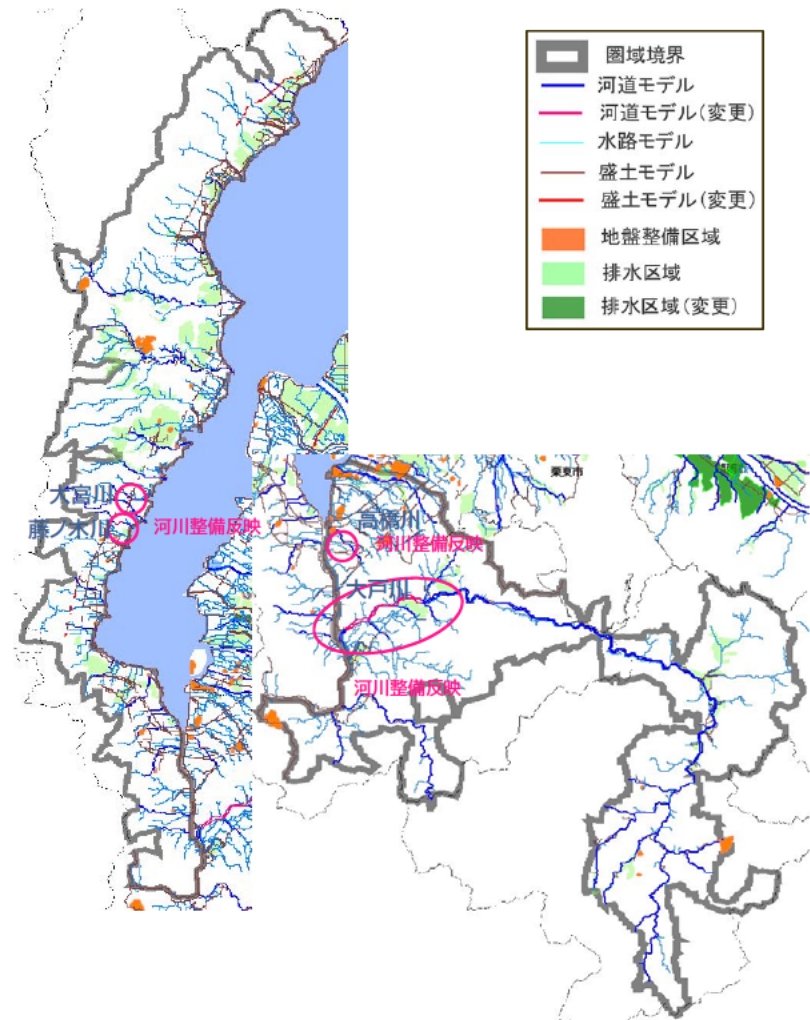
河川名	対象断面
大宮川	0.73k~1.11k
藤ノ木川	0.60k~0.78k
大戸川	1.00k~4.40k
高橋川	1.10k
由良谷川	0.70k~0.90k
葉山川	6.50k~6.90k
愛知川	4.40k~4.80k
蛇砂川	4.60k~5.10k
八日市新川	-0.16k~2.10k
日野川	2.56k~7.18k
三明川	1.00k~1.10k
芹川	0.00k~0.87k
矢倉川	3.60k
野瀬川	0.00k~0.20k
鴨川	4.29k~7.42k
石田川	2.40k~5.30k

3. 更新イメージ図

更新前のマップはH18年度LPデータ使用
 →H29年度(H30.3)までの各市町の提供資料(宅地造成、道路盛土、圃場整備、下水道雨水幹線)を反映



4. 変更モデル図



防災教育の促進について

瀬田川地域安全協議会

野洲川地域安全懇談会において、防災教育のモデル校の候補を募集

防災教育のモデル校：栗東市立 葉山小学校

野洲川地域安全協議会とモデル校で連携し、指導計画等を作成



作成した指導計画等は協議会に関連する全ての市へ共有

令和元年度

改訂された新学習指導要領に基づく防災教育として各学校にて授業を実施

■令和2年度から小学校で全面実施される新学習指導要領改正のポイント

- ・自然災害に関する内容が充実され、「地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」が求められる。



琵琶湖の環境や防災に関する講義を行いました。



琵琶湖河川事務所

〒777-6466

R19.1

～TANAKAMI子ども環境クラブ～

位置図



▶ TANAKAMI子ども環境クラブは、大津市南部の田上学区を中心に水環境調査や自然体験活動を行っています。
 今回9月1日の『防災の日』に合わせて、国土交通省琵琶湖河川事務所職員がその児童やボランティアの学生に対して、琵琶湖における治水・利水・環境、水防災等に関する講義を行いました。

- 日時：令和元年9月1日(日) 13:00～14:30
- 場所：「水のめぐみ館」アクト琵琶 映像ホール
- 参加者：TANAKAMI子ども環境クラブ(児童21名+保護者8名)、ボランティア大学生7名 合計36名

講師

琵琶湖河川事務所職員

《調査課》

上野 調査課長



- 【講義内容】
- (1) 国土交通省の役割について
 - (2) 琵琶湖ってどんな湖？
 - (3) 琵琶湖・淀川水系の治水・利水・環境・水防災の概要
 - (4) 琵琶湖の歴史「行基(奈良時代)から現代まで」
 - (5) 瀬田川洗堰の役割について
 - (6) 九州北部豪雨の内水氾濫について

受講者からの感想

● 滋賀県は湖と河川によって産業が支えられていることがよくわかりました。中でも土木事業であり、人々の生活と密接に関わっている歴史あるということ、また湖や河川はいいところだけでなく、危険をはらんでいるという学ぶことができて良かったです。そして治水等が住民の生活を脅かすことを常に意識して生かされています。

● 自分たちの身の回りで欠かさない橋や河川などは、行基や空海といった歴史の事業で習うように感じました。苦しい。土木の仕事に対してキツいな、何かを思い土地や地図に残り続けるといふことに魅力を感じました。

● 瀬田川洗堰の役割を知れてよかったです。昔は水があふれたりがなくなったりして大変だったんだと思います。



今年2019年は、
 野洲川放水壁
 通水40年！

【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課
 〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)

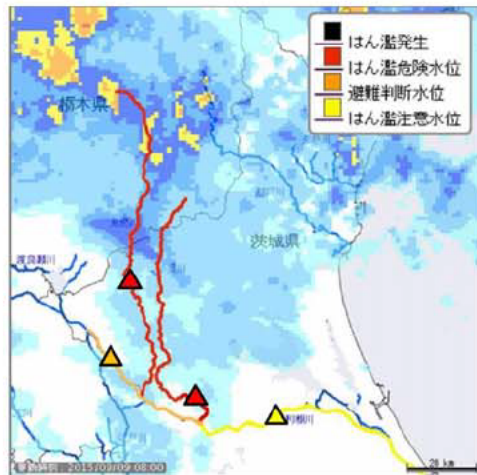


水害リスクラインに基づく水位予測及び洪水予報を実施及び 洪水の最高水位やその到達時間の情報提供など、洪水予報の高度化を推進

- 災害の切迫感を分かりやすく伝える取組みの一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる「水害リスクライン」による水位情報の提供を開始しました。

現行の洪水予報・危険度の表示

水位観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示



水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

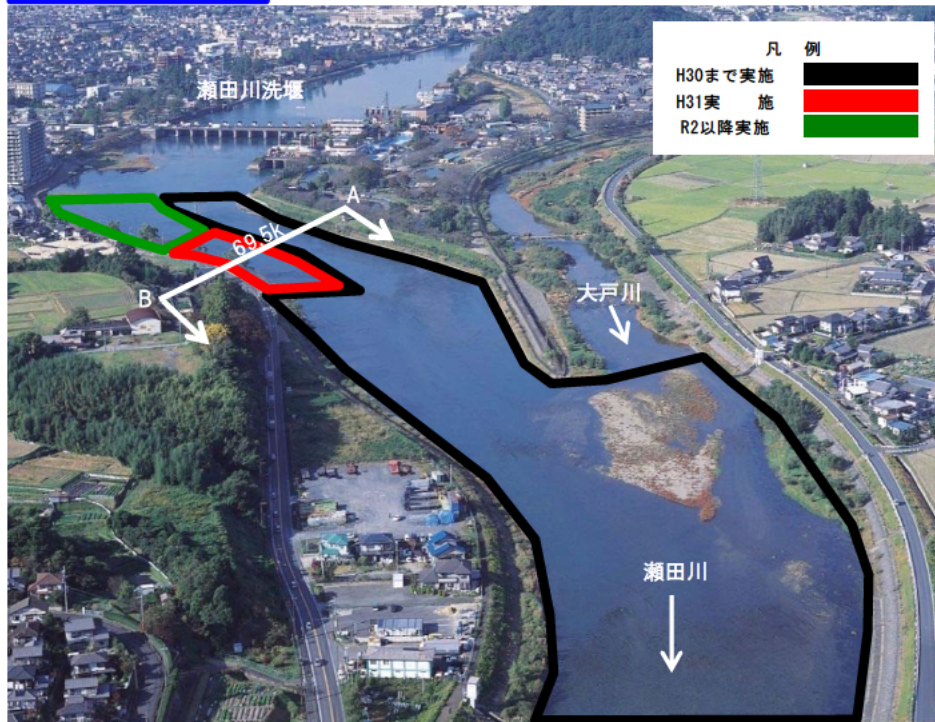
左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



瀬田川洗堰下流の改修を実施

- 令和元年度は69.5k付近の河道掘削を実施し、約90%が完了しています。
- 施工にあたっては、ICT活用工事として実施し工期を短縮するとともに施工時の安全性の向上などを図っています。

河道掘削箇所



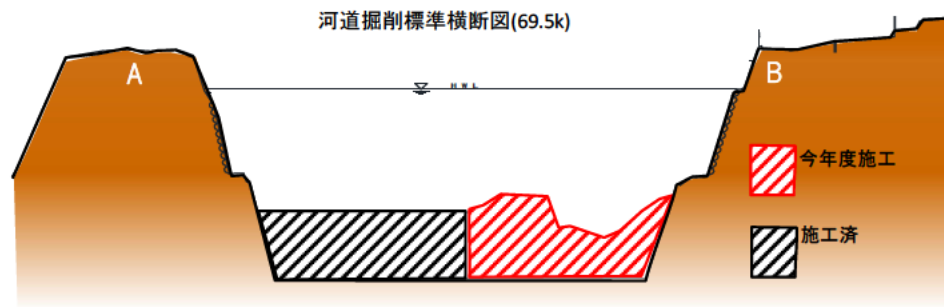
河道掘削状況



ICTの活用



ICT起工測量 (レーザーメスキャナ)



ICT建機による施行状況



出来形管理表

No.	取組項目	目標時期	取組機関
39	自主防災組織の活用・強化(組織の育成や立上げサポート等)	引続実施	大津市
取組の経過			
<p>大津市防災士フォローアップ研修 自主防災活動の中核となる防災士の資質の向上を図り、自主防災組織の活性化につなげてい ため、各方面ごと(消防団の方面隊に分ける。)に研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/18第1方面隊 ・5/25第3方面隊 ・6/1 第2方面隊 			
実施状況			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

No.	取組項目	目標時期	取組機関
39	自主防災組織の活用・強化 (組織の育成や立上げサポート 等)	引き続き実施	甲賀市 甲賀市防災士

取組の経過

- 防災士取組
- 令和元年6月2日 研修会「警戒レベル」の運用について(彦根气象台)
 - 令和2年1月18日 普通救命講習
 - 令和2年1月24日 防災カフェ

実施状況



防災士全体研修



普通救命講習



防災カフェ

No.	取組項目	目標時期	取組機関
41	毎年、水防研修・水防訓練を実施	引続実施	大津市

取組の経過

大津市総合防災訓練において、水防訓練の実施

日時 9月17日

場所 藤尾奥町

参加者

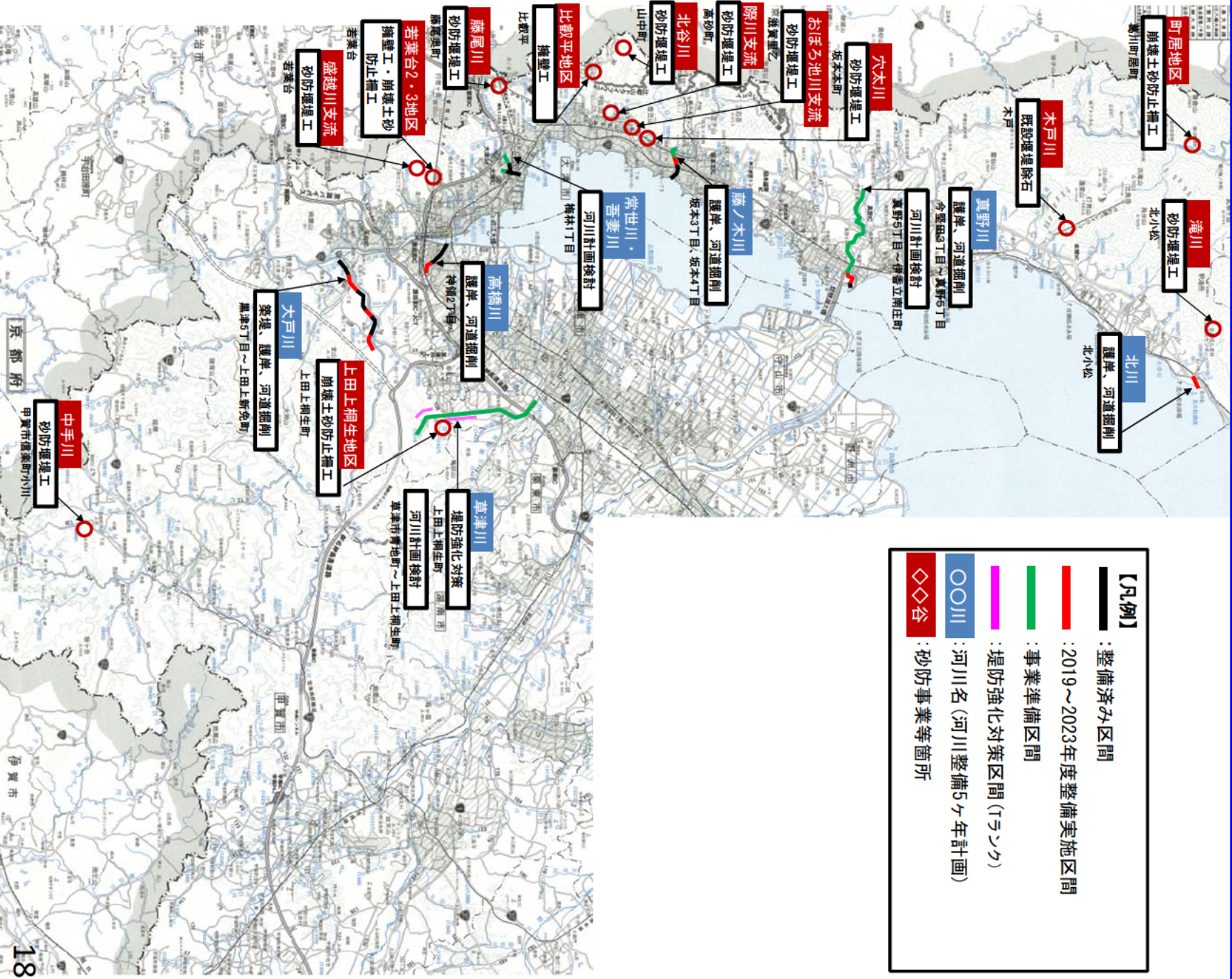
藤尾奥町自主防災会(住民)、大津市消防団、大津市社会福祉協議会登録ボランティア

実施状況



大津・信楽圏域におけるハード事業箇所

滋賀県



No.	取組項目	目標時期	取組機関
53	「大津土木事務所管内維持管理計画」「甲賀土木事務所管内維持管理計画」に基づく維持管理を実施	引き続き実施	滋賀県

取組の経過

・各土木の河川の維持管理を継続的に実施

実施状況



萱尾川
川床整生状況



大戸川
伐採・除根状況

No.	取組項目	目標時期	取組機関
53	「大津土木事務所管内維持管理計画」「甲賀土木事務所管内維持管理計画」に基づく維持管理を実施	引き続き実施	滋賀県

取組の経過

- ・各土木の河川の維持管理を継続的に実施

実施状況

浚渫工事の状況 甲賀市信楽町上朝宮地先 信楽川

施工前



施工後



No.	取組項目	目標時期	取組機関
54	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害防止施設の整備 ○砂防事業 ○急傾斜事業 ○市急傾斜事業 	引き続き実施	滋賀県

取組の経過

・継続的に実施

実施状況

砂防工事の状況 甲賀市信楽町小川地先 中手川



No.	取組項目	目標時期	取組機関
61	特にリスクの高い地区では、水害・土砂災害に強い地域づくり(そなえる対策)の取組を実施	引き続き実施	滋賀県

取組の経過

- ・令和元年11月24日 大津市大石富川地区における防災訓練での出前講座
- ・令和元年12月 1日 大津市堂地区における防災訓練での出前講座および現地調査

実施状況

堂地区
出前講座

堂地区 現地調査

No.	取組項目	目標時期	取組機関
61	特にリスクの高い地区では、水害・土砂災害に強い地域づくり(そなえる対策)の取組を実施	引き続き実施	滋賀県

取組の経過

- ・令和元年9月11日 甲賀市信楽町牧 水害履歴調査
- ・令和元年10月5日 甲賀市信楽町江田 図上訓練
- ・令和元年11月23日 甲賀市信楽町牧 現地調査
- ・令和元年11月24日 甲賀市信楽町江田 図上訓練報告会
- ・令和元年12月16日 甲賀市信楽町神山 避難カーブ配布
- ・令和2年1月18日 甲賀市信楽町勅旨 避難カーブ配布
- ・令和2年1月25日 甲賀市信楽町牧 現地調査報告会
- ・令和2年2月24日 甲賀市信楽町牧 水害履歴調査報告会

実施状況

江田地区 図上訓練



牧地区 水害履歴調査



江田地区 図上訓練報告会



牧地区 現地調査



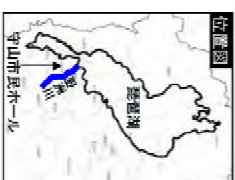
いのちを守る 自主防災 シンポジウム

～ (野洲川放水路通水40周年記念) ～ を開催しました

情報提供

琵琶湖河川事務所

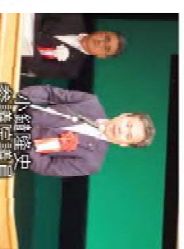
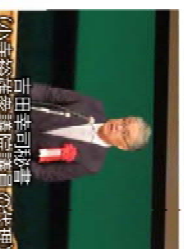
R1.9.15



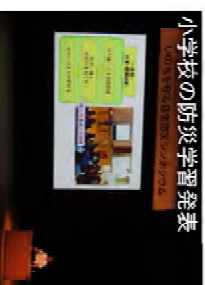
古くより野洲川は人々に多くの恩恵をもたらしましたが、一方で洪水により人々を苦しませる存在でもありました。昭和28年の台風災害をきっかけに『野洲川放水路事業』が実施され、昭和54年6月2日に通水が開始されてから40年が経過しました。近年、痛ましい自然災害が全国各地で頻発している状況です。通水から40年の節目にあたって、住民の方々が野洲川の歴史を改めて振り返り、今一度防災について考え、災害に備える機会にするため、『いのちを守る 自主防災シンポジウム』を開催しました。

- 日時：令和元年9月15日（日）11:00～17:00 ●場所：守山市民ホール 大ホール他
- 参加人数：約1,100人
- 主催：野洲川地域安全協議会、野洲川改修促進協議会、いのちを守る自主防災シンポジウム実行委員会（草津市、野洲市、栗東市、湖南市、甲賀市、近江八幡市、守山市、気象庁彦根地方気象台、滋賀県、国土交通省近畿地方整備局）、一般財団法人自治総合センター

開会式



主なプログラム



【野洲川改修に翻弄された地域住民の姿を、改修から通水まで紙芝居で紹介】

表彰者：野洲川改修中洲地区対策委員会 前委員長 津田義政様

「いつ、どこへ逃がなばよいのか～近年の豪雨災害に学ぶ最新避難術～」

栗東市立葉山の「学校 山口敏生先生



野洲市立北野小学校 5年生児童

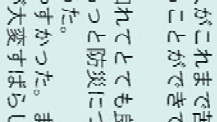
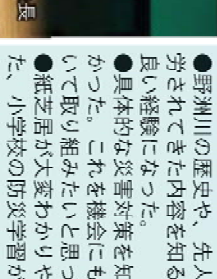
テーマ：「野洲川の雪みと水災害を想定した安全なまちづくり」

NHK大津放送局 大津市支局長 山田真由美

気象予報士・防災士 菊池真由氏

京都大学防災研究所 矢守晃也 教授

野洲のおっさんの防災クイズ



野洲川博士畑田 琵琶湖河川事務所所長による防災クイズ

大鼓演奏

近江むかで大鼓保存会

トラスバンド演奏

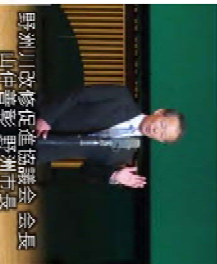
立命館守山中学校・高等学校

防災体験コーナー

災害対策車体験
防護服で記念撮影
ゆるキャラ大集合
地域活動PR展示
野洲川今昔写真パネル展示



閉会式



野洲川の歴史や、先人がこれまで苦労されてきた内容を知ることができて良い経験になった。
●具体的な災害対策を知れてとても良かった。これを機会にもっと防災について取り組みたいと思った。
●紙芝居が大変わかりやすかった。また、小学校の防災学習が大変すばらしかった。
●我が家の「避難スイッチ」について調査しようと思った。

参加者の感想

【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)



第24回 水シンポジウム 2019 in しが

マザーレイク～森・川・里・湖のつながりの再生を目指して～

主催 第24回 水シンポジウム 2019 in しが 実行委員会

(構成団体:公益社団法人土木学会水工学委員会、国土交通省近畿地方整備局、滋賀県、大津市)

2019年8月22日(木曜日)と23日(金曜日)の2日間にかけて、「滋賀から発信するしながやかと強靱な流域治水のあり方」と「水辺を活かしたまちづくりと環境保全の相乗効果」に着目し、これからの水との関わり方についての提案を、滋賀から全国へ発信することを目的に大津市のピアザ淡海を主な会場として開催されました。
このシンポジウムは、平成8年から毎年、各都道府県で開催され、滋賀県では初めての開催となり、約300名の方が参加されました。

開会

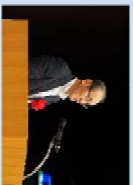
開会挨拶
清水義彦 実行委員長



来賓挨拶
越直美 大津市長



来賓挨拶
西嶋榮治 滋賀県副知事



来賓挨拶
井上智夫 近畿地方整備局長



8/22(木)

特別講演

「しなが寄る地球温暖化影響と

それへの適応とは？」

講師： 中北 英一 氏

(京都大学 防災研究所 教授)

地球温暖化により、今までの常識が通用しないので、後悔しない・早い目・計画的な地球温暖化への適応が必要になってくる。治水の基礎体力、危機管理、自助・共助としての防災力を適応策として増強し、流域住民をハッピーにする考え方を益々深めなければならぬ。



基調講演

「滋賀県発、持続可能社会への挑戦

-科学と政策をつなぐ-

講師： 内藤 正明 氏

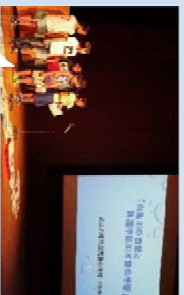
(滋賀県琵琶湖環境科学センター長)

- 目指すべき目標は…
- ・低炭素から脱炭素へ(石油文明の終焉)
 - ・環境対策から社会変革へ
 - ・環境、社会、経済を視野に入れた社会目標
 - ・防止から適応社会へ

もう温暖化防止は諦めて、
順応して生きる
「適応社会」を目指す。



市民団体による発表



近江八幡市立馬淵小学校5年生
4年生の時に川と水害について学習し、自然観察や子どもハザードマップづくり、水害の歴史などを、学校の行事で工夫を凝らして発表されました。その時の学習の様子や、水害の歴史を紙芝居にしたものを発表していただきました。

「私たちの大好きなふるさと馬淵の自然と仲良くしながら自分たちの命を守って安全に暮らしていきたいけるよう、学んだことを活かしていきたいと思えます。」

オーバルオプテックス株式会社 中岡 靖雄 氏

水辺活動と企業の社会貢献活動についてお話いただきました。

①琵琶湖環境体験学習（修学旅行や校外学習実施校に対し琵琶湖にて身近な環境について学ぶ機会の提供。）

②子どもカヌースクール（指導理念は感謝報恩で、恩返し・恩送りが出来る人格形成に重点を置いている。）



「美しい琵琶湖・身近な琵琶湖の存在により、事業活動が続けられると、大変感謝しています。これからも多くの方々に水辺の魅力を発信していくように努力したいと思います。」

分科会

それぞれのテーマに応じて行政・地域住民・民間事業者・メディア・研究者などの

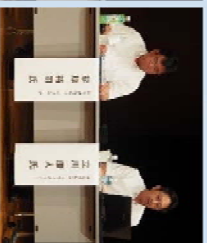
それぞれの立場から議論を交わしました。

第1分科会 「滋賀から発信するしなやかで強靱な流域治水のあり方」のまとめ

『私たちは、滋賀の流域治水という先進的な取り組みを積極的に活かしながら、地域が一体となって防災活動を通してよりよい地域連携、教育、まちづくりを進めていく。また、その重要性を他の地域へも積極的に発信していく。』

第2分科会 「水辺を活かしたまちづくりと環境保全の相乗効果」のまとめ

『水辺（琵琶湖）やそれに関連する「なぎさ」「びわます」「ホテル」等に価値がある。その価値を利用して人がつながり、人が育つ「しかけ（プロジェクト）」が巻き起これば、定住人口の増加、交流人口の増加等、まちづくり・ものがたりが進むという好循環が生まれる。まちづくりと環境保全が両立しないと持続可能ではないし、ビジネスとしてなりたたない。』



全体会議 分科会まとめと水シンポジウム“しが”からのメッセージ発信

「ツアーレイクから、流域全体で「こころがつながる」

治水・利水・環境保全・賑わいのあるまちづくりを推進します。」

8/23(金) 現地見学会 ～琵琶湖の治水・利水・環境巡り～

現地見学会では、琵琶湖の治水・利水・環境に関わる施設を巡りました。
断続的に雨が降る天気でしたが、予定どおり4箇所を見学しました。

最初の見学先は、赤野井湾流域流出水対策施設です。琵琶湖へ流入する汚濁負荷軽減のための河川浄化を行っており、守山川からの流入負荷を水生植物により浄化する施設などを見学しました。



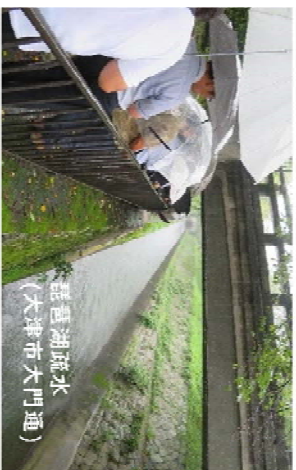
次に、琵琶湖博物館を見学しました。「湖と人間」をテーマとした総合博物館で、琵琶湖の生い立ち、湖とともに生きる人の歴史、自然と私たちの暮らしの展示、国内最大級の淡水生物展示などがあり、私たちの生活・琵琶湖・生き物の「つながり」を学べる体験型展示を観覧しました。



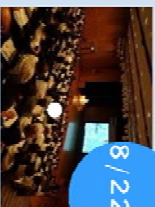
3箇所目の見学先は、瀬田川洗堰(瀬田川流量調節のための可動堰)・水のめぐみ館アンプ琵琶(琵琶湖・淀川についての学習施設)です。琵琶湖の総合的な水管理が流域の発展に治水、利水および環境の面から貢献していることなどを学びました。



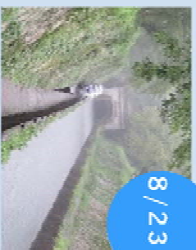
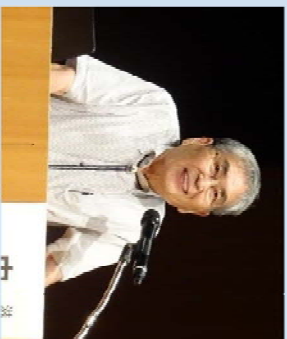
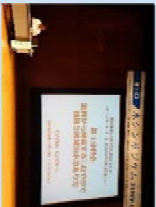
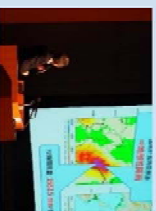
最後の見学先は、琵琶湖疏水です。琵琶湖の水を京都市へ送る用水路であり、京都の市民生活や産業・文化を支えて産業の発展に大きく寄与し、120余年経った今も現役で活躍している施設を見学しました。



水シンポジウム 2019 in しが



8/22(※)



8/23(※)

古来より人々の暮らしに密接に関わってきた琵琶湖やその周辺の河川について、「滋賀から発信するしなやかで強靱な流域治水のあり方」、「水辺を活かしたまちづくりと環境保全の相乗効果」に着目し、これからの水との関わり方についての提案を、滋賀から全国へ発信します。

**【資料4】
引き続き実施の取組内容
(第3回瀬田川地域安全協議会)**

令和2年7月1日

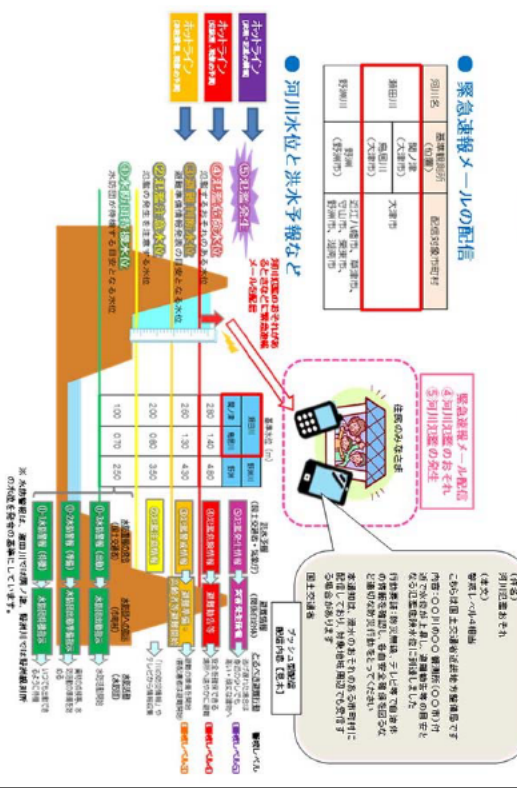
No.	取組項目	目標時期	取組機関
1	出水期前に協議会においてホットラインの連絡体制を確認	引き続き実施	協議会全体

取組の経過

令和元年6月3日 第2回瀬田川地域安全協議会において、ホットラインの連絡体制を確認。
 ・次年度以降も引き続き、協議会の場においてホットラインの連絡体制を確認。

実施状況

ホットライン・緊急速報メールの配信のタイミング

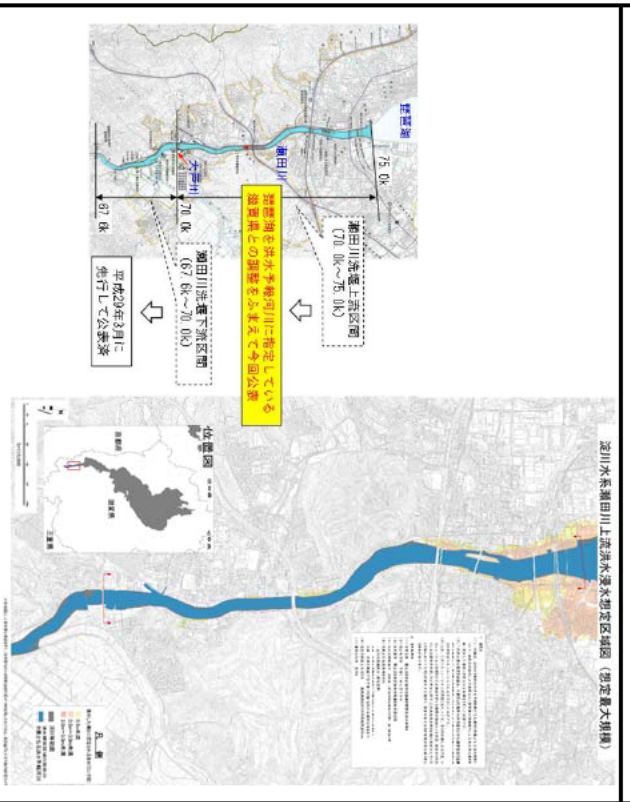


No.	取組項目	目標時期	取組機関
19	琵琶湖、瀬田川上流の想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域図の公表	H30年度	近畿地整、滋賀県

取組の経過

平成31年3月19日 公表。

実施状況



No.	取組項目	目標時期	取組機関
21	想定最大規模の外力を対象とした 氾濫シミュレーションの公表（琵琶 湖、瀬田川上流、大戸川）	H30年度から 順次実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過

・浸水ナビで、破堤点毎の氾濫シミュレーション結果を公表。
<https://subounmap.gsi.go.jp/ShinSuiMap/Map/>

実施状況



No.	取組項目	目標時期	取組機関
31	市町村等の取組を支援する専門 家のリストを作成及び支援結果に ついて協議会等の場で共有	R1年度から 順次実施	近畿地整

取組の経過

・水害（洪水・高潮）、土砂災害、防災気象情報の3種類において専門家リストを作成済
 み。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
32	危機管理型水位計配置計画に基 づいて順次整備	近畿地整:H30年度 滋賀県:R2年度	近畿地整、滋賀県

取組の経過

・関連地先に設置が完了しており、危機管理型水位計のデータも危機管理型水位計
 運用システム川川の水位情報」を通じて、クラウド上で閲覧可能。

実施状況

危機管理型水位計運用システム川川の水位情報」

既設の観測所へ危機管理型水位計が閲覧可能です。

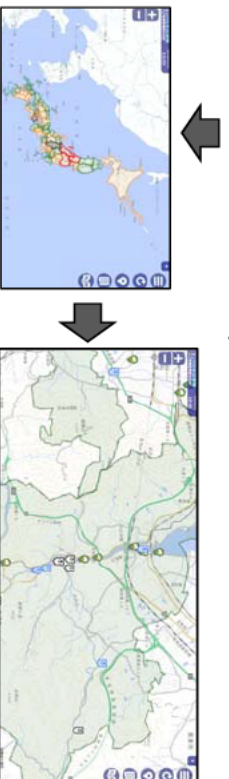
No.	取組項目	目標時期	取組機関
33	河川監視用カメラの情報共有(配置計画の検討・見直し)	引き続き実施	近畿地整、滋賀県、甲賀市

取組の経過

「川の防災情報」のホームページで一般の方を対象に水位計データのほかCCTVカメラ画像のクラウド上での閲覧可能です。

実施状況

川の水位情報



No.	取組項目	目標時期	取組機関
43	協議会の場を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効果的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容について検討	H30年度から順次実施	協議会全体

取組の経過

令和元年度6月3日の第2回蒲田川地域安全協議会にて、「国土地理院が提供できる地理空間情報」、「平成30年7月豪雨の特徴と要因」、「警戒レベル」について情報共有。

実施状況

デジタル標高地形図 (治水対策の場合情報)

国土地理院「デジタル標高地形図」は、国土院が保有する地形データと、治水対策に関する情報を統合し、治水対策の計画や実施に活用するためのツールです。治水対策の計画や実施に活用するためのツールです。

国土院が保有する地形データと、治水対策に関する情報を統合し、治水対策の計画や実施に活用するためのツールです。

国土院が保有する地形データと、治水対策に関する情報を統合し、治水対策の計画や実施に活用するためのツールです。

彦根地方気象台
情報提供資料

国土地理院
情報提供資料

平成30年7月5日から8日にかけての
前線による大雨について
(滋賀県の気象速報)

最新の報告書は以下のサイトから入手できます。
http://www.fma.go.jp/fma/zhshoubook/simgny/simgny_20181818j.html

No.	取組項目	目標時期	取組機関
44	浸水想定区域内の市庁舎や災害拠点病院等に関する情報提供	H30年度から順次実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過
 ・浸水ナビを一般公開し、任意の地点の浸水深を確認できるようにした。

実施状況

The screenshot shows a web browser displaying a map of a city area with a river. A blue arrow points to a time-series graph titled '任意の地点の時系列の' (Time series for any location). The graph shows water depth (浸水深) in meters (m) on the y-axis (0.00 to 0.50) and time on the x-axis (0:00 to 0:30). The graph shows a peak in water depth around 0:15. The website interface includes a search bar, a map, and a data table.

No.	取組項目	目標時期	取組機関
47	河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有	引き続き実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過

・平成30年6月 第1回瀬田川地域安全協議会にて提案。
 ・出水時には水防警報、洪水予報、水位周知河川情報等の情報提供を各機関に実施。

実施状況

The screenshot shows a website titled '川の防災情報は、リアルタイムでの様子や雨の状況などを知ることができるWebサイトです。' (River flood information is a website where you can know the situation in real-time or the situation of rain, etc.). The website has several sections: '加水位' (Water Level) with a table of water levels at various points; '雨量' (Rainfall) with a map showing rainfall intensity; and 'まち・氾濫' (Town/Flood) with a map showing flood-prone areas. There are also QR codes and social media links at the bottom.

No.	取組項目	目標時期	取組機関
48	緊急時に迅速かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成	H30年度から 順次実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過

・強靱排水の必要なエリア、排水ポンプ車の排水により効果を得られるエリアを決定し、対象エリアについて排水ポンプ車の規格、アクセスや釜場、排水元の状況を考慮し、排水ポンプ車の配置可能場所に対する事前準備の検討を実施済み。

実施状況

